

オアシス通信



教会内で行われた恵みの会愛餐会



和気あいあい 愛餐恵みの会

青年や子どもたちも祝う

敬老の日にあたり、七十歳以上の兄弟のお祝いを九月十八日(日)に開催しました。少しでも多くの年配の方々に参加していただきたいこと、また若い人たちを含め誰でも参加できるようにと、昨年からの外部のレストランや喫茶店での食事会の開催を取りやめて、教会で愛餐会の形で礼拝後に行ないました。

「ファミリー」のテーマのもと、青年たちや子どもたちの参加もあり、和気あいあいとした、和やかなひと時となりました。みんなでの賛美、青年や子どもたちによる特別

「態度的価値観に生きる」

敬老愛餐会メッセージ

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」(テサロニケ人への第1の手紙5章16〜18節)

ユダヤ人の精神科医ヴィクトール・フランクル博士は、人間には三つの価値観があると教えています。第一の価値観は、「創造的価値観」です。これはどれだけ多くのものを創りだせるかを見出す価値観です。第二の価値観は、「体験的価値観」です。これは、どれだけ多くのことを体験できるか、どれだけ多くの人々と

知り合いになれるか、ということに見出される価値観です。第一と第二の価値観に支えられていく人は、年齢が進み年老いてくると、体が段々と弱り、自分の世界はどんどんと狭くなってしまう、失望感に襲われることになってしまいます。第三の価値観は、聖書が教える「態度的価値観」です。これは人生を送る上でどんな態度で人生を送るかというところに価値を置いている生き方です。この生き方に立つ人は、どんな状況の中でも、試験の中でも、前向きに肯定的に、主体的に生きることが



教育館とする 活用決まる

教会の第2駐車場の東に隣接する森家から捧げられた土地と2軒の建物は、教育館として使われることになりました。

9月18日には午後から皆さんで大掃除が行われました。これから机や椅子を運び込んで使えるようにしていきます。

まだ建物の周りの掃除が途中なので、引き続きご奉仕をよろしくお願ひします。



賛美、小山牧師のショートメッセージと祝福のお祈りもあり、一人ひとりに子どもたちから小さな花束が贈られました。逆に子どもたちには、お菓子が渡されました。参加された方々一同が、新しい形での行事を喜んで下さいました。恵みの会委員の皆様の陰のご奉仕に、心から感謝致します。
▼赤ちゃん紹介▲
教会にふたりの赤ちゃんが誕生しました。林春希(はるき)くん(三月十九日生まれ) 写真①と渡邊流香(るか)くん(六月十五日生まれ) 写真②。林ご夫妻、渡邊ご夫妻、おめでとうございます。

